

株式会社 ミューパック・オザキ

合成樹脂袋、こだわりの
オンリーワンのアイデア・新技術

納期
相談
オンリー
ワン技術
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



アイデアと技術力のユニークな製品群

業務内容
デザインから一貫、
最近はチャック式に力

合成樹脂フィルム製の袋の専業メーカーで、デザイン開発から設計・製造まで一貫で手がけている。新技術とアイデアにこだわり、この10年はチャック式で開閉する袋の開発に注力。併せて、製袋後に2部品で装着・組み付けするチャック部品「ミュースライダー」を開発した。通常は袋の端にある開閉チャック部を好みの位置に設定できるセンターシール袋、さらに飴菓子袋などのチャック付袋で切り取りのゴミが出ないハーフカット工法の袋の開発や、フィルム袋にグラビア印刷ができ、製袋まで自動化する技術など、相次ぎ新技術を送り出している。

短納期対応も武器として顧客を開拓する半面、近年は自社商品にも取り組んでいる。

強み
切れ端が出ない、
新開発のハーフカット袋

10年余り前から、フィルム製袋機を手がける大手石油会社系メーカーと連携し、後発でチャック付袋に参入。2部品式の「ミュースライダー」で、後付けチャック式の袋市場の約50%を握った。

平成27年にレーザー加工で薄いフィルムの両面に高精度で切り込みを入れるハーフカット工法を開発。密封性があり、ハーフカットを破って開封するので、従来のような切れ端のゴミが出ない。これらを1枚のフィルムで作る込むのがミソで、印刷の作業性を含めコストがかからない。特許申請と意匠登録で知的財産権を押さえ、拡販に力を入れる。

学連
地元学生とコラボ
動物キャラのグッズ、

小さなホットキスの形で、密閉チャック袋を簡単に確実に閉められるアイデア商品「閉めるだけ」を開発した。商品化に向け平成25年から地元の大

阪経済法科大学（大阪府八尾市）の学生とコラボレーションを取り組んだ。学生らの力で1,000名のアンケートを実施し、もともとの基本形に5種の動物キャラクターをあしらった商品に仕上げ、ネット上で販売している。同大学とはインターンシップなど、その後も交流が続いている。

また平成14年から本社工場の周囲の清掃・美化活動に、技術開発トップの高城竹夫専務が早朝から率先して取り組み、地域との融和にも成果を挙げている。

今後の
展望
次代にらみ現場改善、
商品化に女性目線

全社的に業務体制の再整備に取り組んでいる。生産現場は従来の3S（整理・整頓・清掃）活動に加えて、食品分野などへの進出を狙い、クリーン製造を視野に入れた現場改善、無駄削減の徹底など、大手電機メーカーのO/B人材を招いて、抜本的な見直しを進めている。

人材面では女性キャリア社員の採用を計画し、商品開発力の強化を狙っている。「希望は、さまざまな外部の方達と接点を持つ中でアイデアをまとめられる人。女性の柔軟な感性で、自社商品の事業化に活躍してほしい」と尾崎育子社長は話す。

新商品の展開に伴い新工場も構想中。人材育成、世代交代などを同時並行で進め、次代の成長基盤を作る考えだ。



新開発のハーフカット工法の袋



フィルム袋の製造ライン

当社の歴史



勤務先の倒産で、その仕事を引き継ぎ、プロ用の写真ネガ袋の製造で創業しました。平成9年に出版物の付録用の不織布入りCD袋を考案し、市場を一時独占しました。平成17年に大手石油会社系メーカーの開発したフィルム袋加工装置を導入し、チャック付袋の開発に取り組み、現在に至ります。

代表取締役社長 尾崎 育子さん

<http://www.mupack.co.jp/>

主な事業内容

プラスチックフィルム製造事業
全般、製造・加工・販売の一貫
対応

主な取引先(納入先)

化粧品メーカー、
下着メーカー、
生活雑貨メーカー

●住所

〒581-0042
八尾市
南木の本5-2

●TEL 072-991-1505
●FAX 072-993-9946
●創業 昭和55年12月
●設立 昭和58年8月
●資本金 1,000万円
●従業員 30名